

事業評価票

347	水辺空間における景観形成 (建設局河川部／一般会計)	事業開始	平成 26 年度
		事業終期	平成 31 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<p>○ 水辺空間においては、修景等を実施してきたが、無機質なコンクリート護岸等、依然として周辺になじまない景観も残されている。</p> <p>○ 東京2020大会の開催に向けて水辺空間の景観形成を行い、多くの来訪者へのおもてなしにふさわしい美しい都市景観の創出を目指す。</p>	
根拠法令等	

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<p>○ 平成26年度は、オリンピック選手村を中心とした半径8km圏内の河川を対象に現況調査を行い、東京2020大会の開催に向けて、修景効果がより期待できる箇所として、日本橋川と神田川において候補地の選定及び修景メニューの検討を行った。</p> <p>○ 27年度より具体的な整備内容の検討を行い、候補地のうち集客力が高いことを主な理由として、神田川の万世橋周辺(延長約1,000m)、日本橋川の日本橋周辺(延長約800m)の護岸のパネル修景を行うこととした。</p>	

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 東京2020大会に向けて、首都にふさわしい都市景観を創出すべく、多くの観光客が訪れ、目にするであろう水辺空間の修景に取り組む必要がある。</p> <p>○ 一方で、限られた期間の中で最大限の効果を上げられるよう、事業箇所を限定し、大会開催時までには事業を完了させることが求められる。</p>	

3	どのような課題や問題点があったか
<p>○ 修景箇所等の選定にあたっては、再開発計画等との調整を図りつつ、周辺景観との調和や船上・橋上など様々な地点からの見え方を考慮するなど、多角的な検討が必要であった。</p> <p>○ 本事業を実施する神田川と日本橋川は感潮河川であり、潮の満ち引きによる水位変化を加味して施工方法を検討する必要がある。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 2px solid black; border-radius: 10px;">拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																				
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																						
<p>○ 東京2020大会開催に向けて、神田川においては、平成28年度の詳細設計をもとに、29～30年度に修景工事を行う。また、日本橋川においては、29年度に詳細設計を行い、30～31年度に修景工事を行う。</p>																									
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">27年度決算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	27年度決算額	—	千円						28年度予算額	—	千円						29年度見積額	—	千円					
27年度決算額	—	千円																							
28年度予算額	—	千円																							
29年度見積額	—	千円																							
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">27年度決算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4,730</td> <td style="width: 10%;">千円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td style="text-align: center;">147,000</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	27年度決算額	4,730	千円						28年度予算額	20,000	千円						29年度見積額	147,000	千円					
27年度決算額	4,730	千円																							
28年度予算額	20,000	千円																							
29年度見積額	147,000	千円																							

6	29年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 2px solid black; border-radius: 10px;">拡大・充実</td> <td>見直し・再構築</td> <td>移管・終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 事業効果が期待できる箇所であることから、着実な事業進捗を図るべく、見積額のとおり計上する。</p>					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">29年度予算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> </table>	29年度予算額	—	千円	
29年度予算額	—	千円			
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">29年度予算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">147,000</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> </table>	29年度予算額	147,000	千円	
29年度予算額	147,000	千円			